

運輸
身知精
正パ

ヤマト運輸 株式会社

群馬主管支店

障害特性を一つの「個性」として接していく



社員の声



阿久澤 金吾さん
(入社:平成18年11月)

自分の頑張りを評価してもらえる喜び

・仕事内容

全国から集まった宅急便やクロネコDM便などを配送地域ごとに仕分ける業務を担当しています。仕分ける地域を間違えてしまうとお客様への到着が遅れてしまうため、常に確認しながら取り組んでいます。

・仕事に対する思い

今年で勤続9年目になります。常に立ち仕事であり、さらには、季節による気温の変化も激しく、体力を消耗しやすいため、入社当初はかなり苦労しました。しかし、一緒に働く仲間達の支えもあり、一日一日頑張っ続けていこうと思えるようになり、現在まで仕事を続けられています。荷物が多く大変な日もありますが、日々達成感を得られるこの仕事が好きなので、これからも頑張っていきたいです。

・就職を考えている障害のある方へ

いろいろな企業の実習に参加してみるといいと思います。実際の仕事を体験することによって、自分に合った仕事を見つけることができれば、面接の際に企業に対して自分をアピールしやすくなると思います。

社員の1日のスケジュール

障害のある社員12名のうち、精神障害のある阿久澤さんの業務の様子を紹介します。

- 9:50 ● 出社
- 10:00 ● 作業開始
宅急便の仕分け作業に入ります。ベルトコンベアを使って配送地域ごとに仕分けを行います。誤って仕分けをするとお客様に届くのが遅れてしまうため、細心の注意を払って取り組んでいます。
- 13:00 ● 昼食
食堂で他の社員と一緒に談笑しながら昼食をとります。
- 14:00 ● 作業再開
午後はクロネコDM便を中心に仕分けを行います。また、最終便に載せる宅急便の仕分けも行います。
- 18:00 ● 退社
日報を提出して退社します。



■仕分けライン
ベルトコンベアで宅急便やクロネコDM便などを流していき、地域ごとに仕分けていきます。



■出車準備
仕分けが完了したボックスをトラックの荷台に積み込む準備をします。



■クロネコDM便仕分け(手作業)
配送地域ごとに仕分けていきます。

雇用に際しての取り組み

障害のある社員の体調を配慮した仕事の割り振り

障害のある社員と一緒に働く際は、体調管理が重要になります。また、彼ら自身から、体調が悪いことを現場の社員に伝えられないことも多く、体調が悪くても頑張り過ぎてしまい、悪化させてしまうこともあるため、朝礼の際に全員の体調を確認し、必要に応じて当日の仕事の担当を変更するなどの対応を行っています。



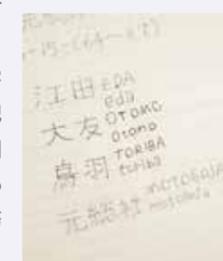
特別支援学校と連携した実習

実習を行うことにより、障害のある方の適性を見極めることができます。また、特別支援学校から実習生を受け入れる際には、担任の先生から普段の学校生活の様子なども教えていただくことにより、実習中の行動だけでは分かりづらい特徴も知ることができます。採用前に職場実習を行うことにより、本人の適性に合った業務の割り振りがしやすくなると思います。



仕事を覚えてもらうための工夫

宅急便やクロネコDM便などの仕分けをするには、市町村名を覚えなければなりません。難しい漢字や読み難い漢字があるため、障害のある社員でも読めるよう、読み仮名を表記した資料を作成しています。また、最近では外国人の方の荷物でローマ字表記のものがあるため、ローマ字表記した資料も作成し、業務の効率を上げています。



一回に一つの指示を徹底

障害のある方の中には、一つの仕事を続けることが得意な方が多い反面、一度に複数の指示を出すとうまくいかない人もいます。以前、あれもこれも一度に複数の指示を与えてしまったため、混乱してしまうことがありました。現在ではその反省を生かし、仕事を任せる際には、一回に一つの指示に絞るように現場の社員に徹底させています。



事業内容

ヤマト運輸株式会社は全国の隅々まで張り巡らされた物流ネットワークを駆使し、宅急便・クロネコDM便を中心とした小口貨物輸送サービスを展開しており、群馬主管支店は、群馬県内の中核を担っています。お客様にとってより便利で快適なサービスを提供し続けることで、「一番身近で、一番愛される企業」を目指しています。



障害のある社員の業務内容

・宅急便やクロネコDM便などの仕分け業務



障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

障害のある方の雇用を通じて、社員の意識が変わります



人事総務 課長
添野 正寿さん

情報を集める

障害者雇用が進まない理由の一つとして、「障害のある方へどのように仕事を教えたらよいか」、「障害のない社員に障害特性についてどのように理解を促したらよいか」など、知識・情報が無いため障害者雇用が進まない企業も多いと思います。まずは、支援機関などに相談する、障害者雇用を積極的に行っている企業の見学をするなど、障害者雇用に関する

情報を集めることによって、どのように取り組めばよいかが見えてくると思います。

雇用することによる気づき

社員が優しくなった、というのは大きな表現なのかもしれませんが、障害のある社員への積極的な声かけや気遣いなどにより、自然に相手のことを思いやる意識が芽生え、職場全体の雰囲気明るくなったと思います。

■事業所データ

常用労働者数 911人
代表者 主管支店長 大澤 正之
所在地 〒371-0815 前橋市下佐鳥町 478

TEL:027-265-7728
URL:www.kuronekoyama.co.jp



■会社概要

宅急便を中心とした一般消費者・企業向け小口貨物輸送サービス事業を行っています。

■障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 12人
うち重度障害のある社員数 3人

区分	身体	知的	精神
正社員	2人		
契約社員			
パート	2人	5人	3人
アルバイト			